収入高は前年比微増に
近畿好調、天候の影響も

ＴＰ経営企業
2018年実態調査

帝国データバンク調べ

帝国データバンクはこのほど、遊園地・テーマパーク（ＴＰ）経営企業の実態調査を行った。調査対象162社の2018年決算における収入高合計は前年比1・6％増と微増だった。（関連1面）

162社のうち、増収が53社、減収が33社、横ばい（増減率が3・0％未満）が76社。

11の地域別では9地域の収入高合計が増加した。伸び率トップは近畿の6・7％増。広告ＣＭや小型イベントを積極的に展開した企業があり、増収に寄与した。

北陸は6・7％減と減少幅が最も大きかった。「北陸新幹線の特需により観光事業が好調である一方で、夏場の猛暑や天候不順、台風が影響した」（同社）。

地域別収入高

地域別	社数	2017年 収入高合計（百万円）	2018年 収入高合計（百万円）	前年比 増減率（%）
北海道	6	2,359	2,440	3.4
東　北	10	5,341	5,431	1.7
関東（東京除く）	30	451,894	453,347	0.3
東　京	13	159,044	163,571	2.8
甲信越	8	33,185	34,696	4.6
北　陸	5	5,783	5,397	▲ 6.7
東　海	20	80,641	81,692	1.3
近　畿	20	45,581	48,616	6.7
中　国	14	6,508	6,420	▲ 1.4
四　国	9	8,639	8,713	0.9
九州・沖縄	27	58,498	60,860	4.0
合　計	162	857,473	871,183	1.6

162社の収入高合計

	収入高合計（百万円）	前年比増減率（%）
2017年	857,473	1.2
2018年	871,183	1.6

各社の収入高の増減

	2017年		2018年	
	社数	構成比（%）	社数	構成比（%）
増収	41	25.3	53	32.7
減収	49	30.2	33	20.4
横ばい	72	44.4	76	46.9
合計	162	100.0	162	100.0

※横ばいは増減率±3.0％未満

2018年収入高ランキング

順位	商号	主なテーマパーク名	本社所在地	決算月	2018年収入高（百万円）	前年比増減率（%）
1	㈱オリエンタルランド	東京ディズニーリゾート	千葉県	3	408,150	0.4
2	㈱東京ドーム	東京ドームシティアトラクションズ	東京都	1	61,369	▲ 0.8
3	㈱バンダイナムコアミューズメント	ナムコ・ナンジャタウン	東京都	3	50,430	6.7
4	富士急行㈱	富士急ハイランド	山梨県	3	29,037	5.4
5	ハウステンボス㈱	ハウステンボス	長崎県	9	26,258	▲ 3.1
6	㈱モビリティランド	鈴鹿サーキット	三重県	3	25,804	3.5
7	長島観光開発㈱	ナガシマリゾート	三重県	2	25,365	▲ 2.6
8	西武鉄道㈱　※1	西武園ゆうえんち、としまえん	埼玉県	3	22,095	6.2
9	㈱よみうりランド	よみうりランド	東京都	3	19,953	▲ 1.1
10	常磐興産㈱　※2	スパリゾートハワイアンズ	福島県	3	12,932	2.1
11	㈱横浜八景島　※3	横浜・八景島シーパラダイス	神奈川県	3	11,164	▲ 5.5
12	（一財）沖縄美ら島財団	沖縄美ら海水族館	沖縄県	3	10,400	5.1
13	（公財）東京動物園協会	恩賜上野動物園	東京都	3	9,289	12.0
14	㈱海遊館	海遊館	大阪府	3	9,015	▲ 3.8
15	㈱サンリオエンターテイメント	サンリオピューロランド	東京都	3	8,700	9.4

※1 ㈱西武ホールディングスが開示した決算短信（連結）の沿線レジャー事業の収入高を引用（主要テーマパーク）
※2 常磐興産㈱が開示した決算短信の観光事業部門の収入高を引用
※3 ㈱横浜八景島は㈱西武ホールディングスの連結子会社に当たるが、決算短信（連結）のホテル・レジャー事業の収入高で計上されているため西武鉄道㈱の収入高と重複しない